

研修報告

『2018年度 認定社会福祉士分野別研修（医療）』

◇テーマ：がんとソーシャルワーク

◇講師：1日目…愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課 野田 司氏
愛知県がんセンター中央病院緩和ケア部 下山 理史氏
名古屋市がん相談情報サロンピアネットピアサポーター 伊藤 和直氏
赤羽乳腺クリニック 赤羽 和久氏
キラキライフ社会保険労務士事務所 社会保険労務士 山下 芙美子氏
2日目…東京医科大学病院 品田 雄市氏

◇研修日：2019年3月17日（日）9:20～17:10

2019年3月30日（土）9:20～16:10

◇会場：日本福祉大学名古屋キャンパス 北館8階

◇参加人数：28名（他県から1名参加あり）



アンケートコメント紹介

- ・MSWに求められる役割や期待されていることが各単元（講義）で明確に示され、チーム医療や連携での職務をイメージしやすかった。講師の方々の熱意が伝わり、自身のモチベーション（元気）も高まった。
- ・がん患者に対するMSWとしての関わり方を基本的な部分から学べてよかった。
- ・就労についての話はこんなに詳しく具体的に聞いたのは初めてでした。ソーシャルワークの内容の幅広さ、知識量の必要性を改めて認識した。
- ・グループワークを通して、ケースへの視点やかかわり方を体感して学ぶことができた。ソーシャルワーカーとしての意見を発信していくためには、訓練が必要だと感じる。
- ・がんの特異性に触れつつも、ソーシャルワークの基礎から考える機会となった。
- ・内容がとても濃密で、大変学ぶことが多かった。参加できて幸運です。
- ・普段の業務を専門的に裏付けるものは何なのか、あまり考えてこなかったが、あらためて研修を通して、振り返ることができてよかった。
- ・がんの患者の支援に限らず、SWとしてどうあるべきか考えることのできる研修でした。

研修を振り返って

委員長 山口和宏

今回の研修は、当協会と愛知県社会福祉士会の共催で、認定社会福祉士医療分野研修として開催されました。ソーシャルワーカーが、がん患者を支援する際に理解しておいていただきたい制度や知識、支援の方法などについて、がんに関わるそれぞれの専門分野の講師から講義・演習を受けていただくという、非常に贅沢な研修でした。

2日目の品田先生の講義・演習では、「がん患者にソーシャルワーカーとして関わることの意義」について学ぶことができ、アンケートの結果でも、参加者の「満足度・理解度・実践への応用」などが高い結果であり、明日からの実践に役立つ研修であったと思います。